



宇津木台 森遊会 実施報告

「第3回定例活動」「第1回市民講座」

No.2012-03

実施日	2012年6月24日(日) 10:00~15:00	天候：晴れ	記録：金森
場所	宇津木台緑地(八王子市久保山町2-1)		
参加者	参加者：16名(男性13、女性3) 衣川、細野、吉川、後藤、林、北澤、曾根、中田(直)、中田(美)、諸岡、奥山(史)、奥山(孝)、大津、小貝、田原、天野 インストラクター：松山氏(神奈川県森林インストラクター)、金森		

実施内容

活動2年目の第三回目。市民企画事業「宇津木の森再生プロジェクト2012」の第一回目を兼ねる。オリンパス技術開発センター宇津木に10時に集合。市民企画事業としての傷害保険は八王子市アドプト制度とは別に加入する必要があったため、今回加入済みのボランティア保険について説明する。松山インストラクターを紹介の後、初参加の市民向けに森遊会の紹介を行う。道具を準備して緑地へ出発。準備運動の後、10時半から12時まで笹を刈る。みるみるうちに明るい広場ができた。笹を刈る意義を説明しつつ、昨年設けた植生調査地を観察する。広場に動植物が増えることが期待できる。昼食時ホットコーヒーを淹れたが気温が高かったためか人気はいまひとつであった。午後は前日に仕掛けた昆虫トラップを確認しながら、巣箱や樹洞を内視鏡で観察する。トラップは昨年同様、殆どがシデムシで相変わらず種類が少ない状態にある。巣箱は6箇所中4箇所でシジュウカラの巣作りが確認できた。うち1か所は親鳥が卵を温め中であった。樹洞にはクワガタが確認できた。今回は初めて子供の参加が1名あり、昆虫好きで新たな発見に興味津々であった。植物は、マユミ、ヌルデ、トラノオなどを松山インストラクターから説明いただいた。技術開発センター宇津木に戻り、道具の手入れ、次回のお知らせをして解散、充実した一日となった。



笹が腰の高さまで密集している



作業開始



すっきり綺麗になって記念撮影



昆虫トラップの餌はひき肉



内視鏡でそっと覗くと艶のある卵が4つ、暫くして親鳥が温めていた



使用済みの巣材を巣箱から出す



樹洞でじっとしていた

連絡事項

- ・怪我、ヒヤリハットはなし。
- ・緑地のゴミを入れたボランティア袋は、大2個を宇津木台行きバス通りに面した入口に置く。
- ・次回は、7月22日、低木の伐採(剪定)とシュロの葉で編むクラフト(シュロバッタ)を予定する。